FR健康保険組合
従業員用

知って受診しよう がん検診

私の年代は、どんながんにかかりやすいの？

出典：全国がん罹患データ2020年、がん情報サービス

FR健保が補助するがん検診　※従業員と家族は補助年齢が異なります

男性

	20代 前半	20代 後半	30代 前半	30代 後半	40代 前半	40代 後半	50代 前半	50代 後半	60代 前半	60代 後半	70代 前半
1位	白血病		大腸		大腸					前立腺	
2位	悪性リンパ腫		白血病	胃	胃	肺			前立腺	大腸	肺
3位	脳・中枢神経系 甲状腺	大腸	悪性リンパ腫 甲状腺		腎・尿路（膀胱除く）	胃			肺		大腸

女性

	20代 前半	20代 後半	30代 前半	30代 後半	40代 前半	40代 後半	50代 前半	50代 後半	60代 前半	60代 後半	70代 前半
1位	甲状腺		乳房								
2位	卵巣	乳房	甲状腺	子宮頸部		子宮体部		大腸			
3位	白血病	卵巣	子宮頸部	甲状腺	大腸			子宮体部	肺		

FRグループ健診では、どうやってがん検診を受ければいいの？

《コースに含む》か《OP》のどちらか確認する

- コースに含む → 申込不要
- 《OP》 → 申込
  - ① WEB予約(i-Wellness)：オプション選択画面で「✓」をつける
  - ② 電話予約、直接予約：追加することを伝える

※従業員と家族は補助年齢が異なります、家族用はこちら ＞

10代、20歳～	30歳～	40歳～	50歳～	60歳～

肺がん
- 全年齢：すべての健診コースに含む（労働安全衛生法に基づき、従業員は全年齢で必須項目）
- 国の推奨　40歳以上、毎年

胃がん
- 35歳、40歳以上：人間ドックコースに含む
- 国の推奨　胃カメラ：50歳以上、2年に1回 または、胃部X線：40歳以上、毎年

大腸がん
- 40歳以上：一般健診 《OP》
- 35歳、40歳以上：簡易ドック・人間ドックコースに含む
- 国の推奨　40歳以上、毎年

《女性》子宮頸がん
- 全年齢：すべての健診コース 《OP》
- 国の推奨　20歳以上、2年に1回

《女性》乳がん
- 30～39歳：一般健診（乳房エコー）
- 35歳と40歳以上：すべての健診コース（乳房エコーまたはマンモグラフィ）《OP》
- 国の推奨　マンモグラフィ：40歳以上、2年に1回

見方
- がん → FRグループ健診で受診（選択）できるコース・年齢
- 国が推奨する受診年齢・頻度 検査方法
- 胃
- 大腸

FR健康保険組合
従業員用

知って受診しよう がん検診

FAQ

胃がん

Q	A
推奨年齢は40歳以上ではないのですか？	2016年、国の指針が変更され **「50歳」以上かつ「２年に1度」**が推奨となりました。
胃部X線・胃カメラを受けないドックはありますか？	「胃部X線・胃カメラ」「詳細の採血」等が省略された簡易ドックコースがあります。 健診コースの違い（従業員）▶▶▶
ABC検診は胃がん検診の代わりになりませんか？	ABC検診は胃がんにかかる可能性を調べる検査であり胃がん検診の代わりにはなりません。 しかし、ABC検診で可能性を知って定期的に胃カメラを受ける考え方もあります。 ABC検診の正しい活用法▶▶▶

乳がん

Q	A
マンモグラフィは痛いので受けたくありません・・・	月経前は乳腺が張り痛みを強く感じやすいので **痛みのつらい方は月経後がお勧めです**。 40歳以上はマンモグラフィが推奨されています。

女性の病気セルフチェック

子宮頸がん

Q	A
生理になったので、キャンセルしてもよいですか？	医療機関に直接電話し、子宮頸部細胞診を後日受診できるかご相談ください。
子宮体部がんも気になります	右のサイト「女性の健康」でセルフチェックを行い、症状のある方は健診前に医療機関へ電話相談または健診時に医師へご相談ください。

その他

Q	A
国はすべてのがん検診を進めているの？	国が集団検診（職場の健診等）で推奨するがん検診は５つ（肺がん検診・胃がん検診・大腸がん検診・子宮頸がん検診・乳がん検診）のみです。 その理由は、早くがんを見つけられる検査方法があり、治療をすることで死亡率を下げられることが科学的に証明されているからです。
上記５つ以外のがんも心配です 補助年齢外ですが、家族歴があり心配です	家族歴等からがんリスクは人それぞれ異なります。 上記以外の検査を希望される場合は、自己負担で追加可能です。 予約した医療機関へ直接ご相談ください。
簡易ドックコースと人間ドックコースの違いは？	右の「健診コースの違い（従業員）」をご覧ください
役所（役場）からがん検診の案内が届きました。どちらを受けたらよいですか？	市区町村またはFRグループ健診のどちらか１つでご受診ください。

FRグループのがん検診

健診コースの違い（従業員）

2人に1人ががんにかかる時代、がん検診をご活用ください